

保育施設の入所 申し込み11月まで

市内認可保育施設（公立こども園、伊丹ひまわりこども園の2・3号含む）への来年4月入所申し込みを受け付けています（原則、郵送での申請を）。詳しくは市ホームページ（下記）から読み取り可）から確認を。



市認可保育施設（公立こども園、伊丹ひまわりこども園の2・3号含む）への来年4月入所申し込みを受け付けています（原則、郵送での申請を）。詳しくは市ホームページ（下記）から読み取り可）から確認を。

オミクロン株対応ワクチン 接種を開始

国はオミクロン株対応ワクチンの追加接種について、初回接種を完了した12歳以上を対象に実施を決定しました。前回接種から5カ月以上あけて接種可能です。今後、接種間隔は変更となる場合があります。

●接種券の発送について 初回接種を完了し、3・4回目未接種の12歳以上の人にオミクロン株対応ワクチン接種券を10月4日に発送します。使用していない3・4回目接種券がある人は、オミクロン株対応ワクチン接種券が届き次第、旧の接種券は破棄してください。なお、従来のワクチンで4回目接種を完

成した人の接種券送付時期は、決まり次第市ホームページなどでお知らせします。

接種を開始

了した人の接種券送付時期は、決まり次第市ホームページなどでお知らせします。

●接種予約について オミクロン株対応ワクチン接種券が届き次第、予約してください。ただし、▽※60歳以上▽18歳以上60歳未満の医療従事者や高齢者施設などの従事者や基礎疾患などを有する——の人のうち、4回目未接種の人は、接種券が届く前でも予約可。市新型コロナウイルスワクチンコールセンターへ電話を。※はインターネット予約も可。

●接種会場について 接種は個別医療機関と旧博物館で行っています。10月11日からは新たに

申し込みは来年5月以降の入所審査対象になります。

◆預かり保育料などの無償化請求手続きを 市教委は、子育てのための施設等利用給付認定（新2号か新3号）を受け、令和4年4～9月に幼稚園などの無償化対象施設（事業）を利用した人に対する施設等利用費（預かり保育料や認可外保育施設の利用料など）を支給します。請求手続きには、施設等利用費請求書（市ホームページからダウンロード可）や各園が発行する領収証兼提供証明書が必要です。

申請方法など詳しくは市ホームページ（下記）から読み取り可）から確認を。いずれも各園が定める提出期限までに提出を。支給は12月下旬の予定。

●園市教委教育保育課 ☎784・8035。外国人児童の市立小学校入学

希望者は手続きを 平成28（2016）年4月2日～29（2017）年4月1日に生まれた市内在住の外国人児童で、来年4月に市立小学校に入学を希望する人は、10月17日までに当該児童の「在留カード」、「特別永住者証明書」、「住民票の写し」のいずれかを持って直接、市役所

市役所7階7会議室でも接種を行います。

市内取り扱いワクチン一覧		
年齢	接種回数	取り扱いワクチン
小児（5～11歳）	初回（1・2回）、3回目	小児用ファイザー社ワクチン
12～17歳	初回（1・2回）	既存のファイザー社ワクチン、または※武田社ワクチン（ノバパックス）
	3・4回目	オミクロン株対応ワクチン（ファイザー社）
18歳以上	初回（1・2回）	既存のファイザー社ワクチン、または※武田社ワクチン（ノバパックス）
	3・4回目	オミクロン株対応ワクチン（ファイザー社またはモデルナ社）

※は10月6日から接種可能

対象者に接種券は送付済です。コールセンターへ電話かインターネットで予約してください。

●10月から取り扱いワクチンが変わります オミクロン株対応ワクチン接種開始に伴い、10月1日から接種可能なワクチンの種類が右表の通り変わります。

実施医療機関や接種スケジュール、今後の取り扱いワクチン



「いたみ総合保健センター」がオープンします。

新型コロナウイルスの感染拡大により、市民の命と健康を守る保健医療体制の重要性が再認識されました。

感染症対応の最前線となる行政機関は保健所ですが、伊丹市域では兵庫県が所管しており、「阪神北県民局伊丹健

康福祉事務所」と呼ばれています。一方、感染症対応も含めた市内の医療体制としては、市立伊丹病院などの病院と各診療所が連携してネットワークを組んでいます。

これらに加え、11月28日、「市民の健やかな生活を支え、あらゆる世代に寄り添える複合施設」を基本理念とする伊丹市立の「いたみ総合保健センター」がオープンします。

紛らわしくて恐縮ですが、この施設は法定の「保健所」ではありません。これまで個別にあった市立の「保健センター」「口腔保健センター」「休日応急診療

4階の学事課へ。 ●里親相談会を開催 10月7日（金）午後1～4時、19日（水）午前9時半～11時半、伊丹商工プラザで。無料。当日直接、会場へ。

●第18回人権フェスティバルを開催 10月29日～11月4日（4日（金）は正午まで）、「ふらっと」人権センターで。 【パネル展】同センターで期間中開催。無料。当日直接、会場へ。

●講演会 10月29日（土）午後1時、同センターで。演題は「取り組みの立脚点は差別の現実——問われている基本認識」。講師は近畿大名誉教授の奥田均さん。定員100人。無料。

●10月21日までに電話で「ふらっと」人権センター ☎781・6006 か伊丹人権啓発協会「おるか」の会 ☎779・6141へ。先着順。

●差別を許さない都市宣言制定記念市民集会を開催 市と市教委、市民集会実行委員会は11月

所」を集約化したもので、加えて、伊丹市医師会と伊丹市歯科医師会の事務所も移転してきました。これにより、市民の皆さんの健康を守るサービスがこれまで以上に利用しやすくなります。

機能面では、これまでの3つの施設が有していた老朽化、耐震性不足、不十分なバリアフリーなどの課題が解消されることに加え、雨天時においても各種健診をスムーズに行える動線を確保します。

また、授乳室や相談室の数を増やし、新たに調理室を設置することで、食育教室や離乳食教室などのサービスを充実させま

を。 ●里親相談会を開催 10月7日（金）午後1～4時、19日（水）午前9時半～11時半、伊丹商工プラザで。無料。当日直接、会場へ。

●第18回人権フェスティバルを開催 10月29日～11月4日（4日（金）は正午まで）、「ふらっと」人権センターで。 【パネル展】同センターで期間中開催。無料。当日直接、会場へ。

●講演会 10月29日（土）午後1時、同センターで。演題は「取り組みの立脚点は差別の現実——問われている基本認識」。講師は近畿大名誉教授の奥田均さん。定員100人。無料。

●10月21日までに電話で「ふらっと」人権センター ☎781・6006 か伊丹人権啓発協会「おるか」の会 ☎779・6141へ。先着順。

●差別を許さない都市宣言制定記念市民集会を開催 市と市教委、市民集会実行委員会は11月

さらに、成人の生活習慣病予防や高齢者のフレイル予防を目的とした事業など、学習と実践が一体化した事業を展開します。

いたみ総合保健センターのオープンニング記念として、施設見学会、講演会、測定会などを12月より順次開催します。ぜひ参加してください。

あらゆる世代の人が利用しやすい健康づくりの新たな拠点の充実に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。ご期待ください。

（市長 藤原保幸）

1日（火）午後2時半、スワンホールで開催します。内容は、弁護士仲岡しゅんさんを講師に迎え、「LGBTとジェンダー・セクシュアリティを巡る人権問題」をテーマに講演。

定員100人。無料。人権ポスター展示や人権作文の朗読（手話通訳・要約筆記あり）も行います。

●市同和・人権・平和課 ☎784・8077 か市教委人権教育室 ☎784・8113（ファクス780・3519も可）へ。先着順。一時保育あり。

●赤い羽根共同募金 10月1日から「助け合い 広がる つながる 赤い羽根」をスローガンに、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。

寄せられた募金は、▽仲間づくりの輪を広げる活動▽ボランティアの活動支援▽就学前とその保護者が集える場の支援▽民間社会福祉施設の設備充実——など、民間社会福祉事業への資金として役立てられます。協力をお願いします。

●国社会福祉協議会 ☎779・8512。